



明化の教育

3月号(第476号)
令和2年3月2日
文京区立明化小学校
校長 溝畑 直樹

卒業の時を迎えて - 巣立ちゆく6年生 -

校長 溝畑 直樹

朝がくると

まど・みちお

朝がくると とびおきて ぼくが作ったのでもない 水道で顔をあらうと
ぼくが作ったのでもない 洋服を きて
ぼくが作ったのでもない ごはんを おしゃむしゃたべる
それから ぼくが作ったのでもない 本やノートを
ぼくが作ったのでもない ランドセルに つめて せなかにしよって
きて ぼくが作ったのでもない 靴をはくと
たったか たったか でかけていく ぼくが作ったのでもない 道路を
ぼくが作ったのでもない 学校へと ああ なんのために

いまに おとなになったなら ぼくだって ぼくだって

なにかを 作ることが できるように なるために



6年生は間もなく卒業の時を迎えます。最上級生の責任を胸に、この一年で大きな成長を遂げた6年生。3年間にわたり取り組んできた「演劇」の活動は、「即興劇」が集大成でした。班ごとにストーリーをゼロから作り、動きながらその物語を少しずつ変えていく。この子たちは、わずか7分の時間さえあれば、どんなテーマも演劇作品にできました。「なにかを作ることができる」素晴らしい力を身に付けたのです。これからも多くのものを作り出し、素敵な劇で観客の心を幸せにしたように、多くの人に幸せをもたらす人となってほしい。52人のリーダーたちそれぞれの未来に、幸多かれと心から祈ります。これまでありがとう。さようなら。

学校の決算書ともいえる「学校評価」をまとめました。保護者・地域のみなさまには、評価に対してご協力をいただき、ありがとうございました。今年度の教育活動については、98.9%の方から「満足」とご回答をいただいております。学校との信頼関係は引き続き良好といえます。校舎改築工事が本格化し教育環境が目まぐるしく変わる中で、保護者・地域のみなさまとの信頼関係は、子供たち・本校教職員を支える最も大きな力となります。また、器楽部や俳句創作、多様な体験活動など「特色ある教育活動」についても99%以上の保護者から「満足」との回答をいただいております。一方、これまで課題であった「返事、挨拶、ありがとう、後始末の実践」については、「家庭できても、学校ではできない」という子供たちの実態が明らかになりました。この部分は家庭との連携をより強化しながら指導を継続していきます。学校評価の詳細については、学校ホームページで公開いたしますのでご覧ください。

次年度は仮設校舎への引っ越しを予定しています。校舎が変わっても受け継がれてきた伝統は大切にしつつ、新たな課題解決に向けては果敢にチャレンジを続け、しなやかで逞しい明化の子どもを育成して参ります。来る令和2年度も明化小学校にどうぞ変わらぬご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。一年間のご支援に心から感謝いたします。

■■新型コロナウイルス感染症対策について■■

文京区の対応方針、今後の学校行事の実施方法については2月26日に各ご家庭あてにお知らせを配布いたしました。内容について今一度ご確認ください。今後も状況に応じて対応を変更することがございます。予めご承知おきください。